

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 90分

## 解答形式

記述・論述・選択・描図

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

## 出題の特徴

空所補充の設問以外に描図、論述問題が出題された。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

数値で答える設問で、単位の明記が求められた。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	空所補充 (記述・ 選択) 問形式 (論述)	力学 (抵抗力を受 けた物体の 運動)	物理	与えられた表や図を正しく読み取る必要がある。 その他、題意に沿って式を立てて解いていかないと いけない。	やや難
II	空所補充 (記述・ 選択) 問形式 (描図)	電磁気 (荷電粒子の 運動)	物理	前半部分を確実に解答することが大切である。 後半部分はドリフト運動がテーマであるが、初めて この問題に出会った諸君には答えるのが難しいと思 われる。	やや難
III	空所補充 (記述・ 選択) 問形式 (論述)	熱 (重力を考慮 した気体の状 態の考察)	物理	題意に沿って式を立て、計算を進めていくことが特 に要求される問題である。	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

1. 基本事項を正確に把握する。
2. 題意を正しく把握するための読解力を養う。
3. 図を用いて状況設定を正しく把握する習慣を身につける。
4. 正確で迅速な計算力を養う。